

令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

1. 事業実施の方針

「障害の有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24時間365日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。

昨年度は、法人の次の方向性を定めるための準備期間と位置づけ、今後の事業展開へ向けた検討と準備に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症(以下、「コロナ」と略す)の流行状況に応じてできる限りの事業を行い、そのことを通じて参加者や関係機関との連携を深めつつ、外部への発信や相談への丁寧な対応を積み重ねることによって、地域の中での信頼を高めることができた。一方で、パート職員の確保に苦勞するなど職員体制は決して潤沢ではなく、収支も2期連続の赤字となっており、運営基盤の強化が今後の課題となった。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

上記の事業実施の方針を具現化するため、以下の事業を行った。

① 障害児・者の休日支援事業

支出額 624 千円

障害当事者と家族の余暇支援プログラム

障害の種別を問わない多様な障害当事者及び家族が集い、動作法により仕事や学校などの日常とは違うホッとできる時間づくりを行った。参加者のニーズが高いため、昨年度に引き続き密集を避けるため個別対応で行うと共に、ボランティアの受け入れ再開を試みた。コロナの流行状況を見ながら規模や実施方法も含めて柔軟に変更しながら実施となり、実施日数は概ね予定通り行うことができたが、ボランティアの受け入れについては限定的なものとなった。

実施日：動作法 11 日

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(延べ) 講師 31 名、ボランティア 5 名、事務局 22 名

対象者：障害のある人及び家族

対象人数：(延べ) 利用者・家族 124 組

② 障害者の就労に関する事業

支出額 145 千円

リサイクルショップくるり

物品販売を通して、障害のある人の社会参加の促進を目指した。今年度もコロナの影響で地域イベントの変更や中止が想定されたため、事務所での販売を中心に行った。

実施日：通年

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(通年) 事務局 1 名

対象者：障害のある人や関係者 42 人

③ 福祉に関する相談支援事業

支出額 4 千円

A. コミュニティサロン

障害の有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行った。参加者の年齢がコロナに対するハイリスク層のため、近隣での流行がみられる場合には早めに中止する対応を行った。

実施日：毎月第 2 水曜日（5 月、2 月を除く）11:00～15:00

実施場所：法人事務所

スタッフ数：(通年) 事務局 2 名

対象者：(延べ) 一般市民 80 名

B. 個別相談

福祉・心理等の専門性が必要な相談について、マンツーマンによる相談対応を行う体制をとったが、今年度は対象となる相談がなかった。

④障害児のきょうだい支援事業
実施なし

⑤健康増進事業
実施なし

⑥福祉啓発事業

支出額 1,287 千円

A. 障害者の居場所づくり事業（委託事業：鳥栖市）

障害当事者がそれぞれの立場や団体の利害関係を超えて集える場所『ほっとスペース』を開催し、楽しい時間を過ごしたり、悩みを共有したり、情報交換できる場所とした。コロナの感染状況に合わせて、対面とオンラインを切り替えながら実施した。

実施日：令和3年6月～令和4年3月（10回）

実施場所：鳥栖市社会福祉会館、オンライン

スタッフ数：（延べ）講師34名、ボランティア15名、事務局18名

対象者：（延べ）ぴあCAFE54名、おやCAFE30名、保育13名、

あなたの相談室2名

B. 障害に関する啓発事業（委託事業：鳥栖市）

障害のある人への理解を促進するため、市民向け、行政職員向けの啓発事業を行った。話題提供者を招いての研修会、オンラインでの講義などニーズに応じて対応した。

実施日：7/18、9/15、12/21、3/12

実施場所：旭まちづくり推進センター、鳥栖市役所（2回）、九州医療専門学校（オンライン）

スタッフ数：講師2名、ボランティア5名、事務局（通年）2名

対象者：一般市民

対象人数：（延べ）74名

C. 研修・交流事業

テーマや対象者に合わせた研修会や出張講演、交流事業等を通じて、障害や福祉に関する理解を深めた。

実施日、場所：

2021/04/26 [太宰府市] 筑紫女学園大学 (知的障がい者教育方法論)

【障害とその人の理解】 * 講師

2021/07/07 [佐賀市] 佐賀県相談支援従事者初任者研修

【相談支援 (障害児者支援) の目的と意思決定支援】

* 当事者シンポジスト

2021/10/01 [吉野ヶ里町] 東脊振小学校 (福祉体験 (車イス))

【車イス体験の前に知ってほしいこと】 * 講師

2021/11/12~30 [沖縄県 (Web 開催)]

心理リハビリテーションの会全国大会 (トレーニーの会) * 司会

2021/11/24 [福岡市 (オンデマンド)] 精華女子短期大学 (人権尊重教育講演会)

【障害って何だろう!?!~誰もが自分らしく暮らせる社会~】 * 講師

2021/12/01 [東京都 (オンライン)] 青山学院大学

(青山学院大学ボランティア学生団体 Roote 福祉プログラム

障がい者福祉を学ぼう Week ボランティア入門講座@オンライン)

【障害って何だろう!?!】 * 講師

2021/12/09 [佐賀市] 川上小学校 (人権集会)

【障害って何だろう!?!】 * 講師

スタッフ数：(通年) 2名

対象者：(延べ) 会員、福祉関係者、一般市民、等 1,437名

D. 共生社会実現のための理解促進事業

(助成事業：佐賀県地域福祉振興基金)

障害の有無を問わず当たり前前に地域で暮らすことを選べる社会を実現するために、ドキュメンタリー映画とトークイベントを通じて重度の障害があっても地域で暮らす実践を知ること、障害当事者・家族・支援者及び地域住民の理解を促進した。また、地域の中で重度障害者の地域生活を支えるための体制整備について、関係機関で検討が始まる波及効果があった。

実施日：10/10、12/5

実施場所：鳥栖市民文化会館

スタッフ数：講師4名、実行委員6名、事務局2名

対象者：一般市民

対象人数：(延べ) 354名

- ⑦ 障害児・者を取り巻く福祉・教育・就労等に関する調査・研究事業
実施なし

⑧ 児童福祉法に基づく事業

支出額 9,750 千円

中原特別支援学校放課後児童健全育成事業（委託事業：みやき町）

障害のある児童がリラックスして楽しめる環境を提供し、就学時間終了後及び長期休暇期間中に安全且つ安心して過ごせる場となるよう目指した。引き続きコロナ感染防止対策を図りつつ、必要な職員体制の確保など事業を中断することがないよう十分留意した。

実施日：開所日数 290 日

月～金曜 14:00～18:00

土曜・長期休暇中 9:00～18:00（8:30～9:00 の延長あり）

実施場所：中原特別支援学校放課後児童クラブゆう

スタッフ数：（述べ）1,430 名

対象者：中原特別支援学校に在籍する児童・生徒

対象人数：（述べ）2,728 名

⑨ 障害者総合支援法に基づく事業

支出額 8 千円

計画相談支援事業

地域の中で困り感を抱える障害当事者や家族に対し、障害福祉サービス等の利用を通じてニーズの充足を図るために、障害福祉サービスの利用申請に必要なサービス等利用計画の作成等を行う事業について、2022 年 5 月 1 日指定へ向けた準備を行った。

スタッフ数：（通年）2 名

⑩上記の事業を達成するために必要な事業

支出額 16千円

市民協働事業

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働し、事業の実施や団体運営サポートを行うと共に、各種審議会等の委員としての政策提言等を行った。

<委員会、会議等>

ア. 鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議（芹田：委員として）

イ. 鳥栖市市民活動支援補助事業検討懇話会（芹田：委員として）

ウ. 鳥栖・三養基地域自立支援協議会（構成団体として）

エ. 鳥栖市障害者理解促進実行委員会（芹田：委員として）

オ. 鳥栖市社会福祉協議会苦情解決第三者委員（芹田：委員として）

カ. ふれあいスクール（芹田：校長として）

キ. withコロナ下の課題共有および協働誘発のための共通基盤構築事業（芹田：委員として）

ク. 心理リハビリテーションの会ホームページ運営委員会（芹田：委員として）

(2)その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施するため、以下の事業によって収入の確保に努めた。

①自動販売機設置事業

支出額 5千円

本法人を支援する個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金面で補填した。また、設置に際しては販売機にその設置趣旨を明記し、啓発広報にも活用した。

実施日：通年

実施場所：本法人を支援する個人宅や企業内

スタッフ数：（通年）2名